

小牧市自殺対策計画について

「誰も自殺に追い込まれることのない社会」を目指し、自殺対策基本法が平成28年に改正されました。これを受け、小牧市においても、総合的かつ効果的な自殺対策を推進するため、『「こころ」と「いのち」を大切に、気づき、つながり、みんなで支え合うまち こまき』を基本理念として掲げる「第1次小牧市自殺対策計画」を策定し、自殺対策に関する様々な施策の展開を図ってきました。

令和4年10月には、国において新たな「自殺総合対策大綱」が閣議決定され、この大綱と地域の実情を踏まえ、本市の自殺対策計画の計画期間が令和6年度で終了を迎えることから、現在、第2次計画の改訂作業を進めております。

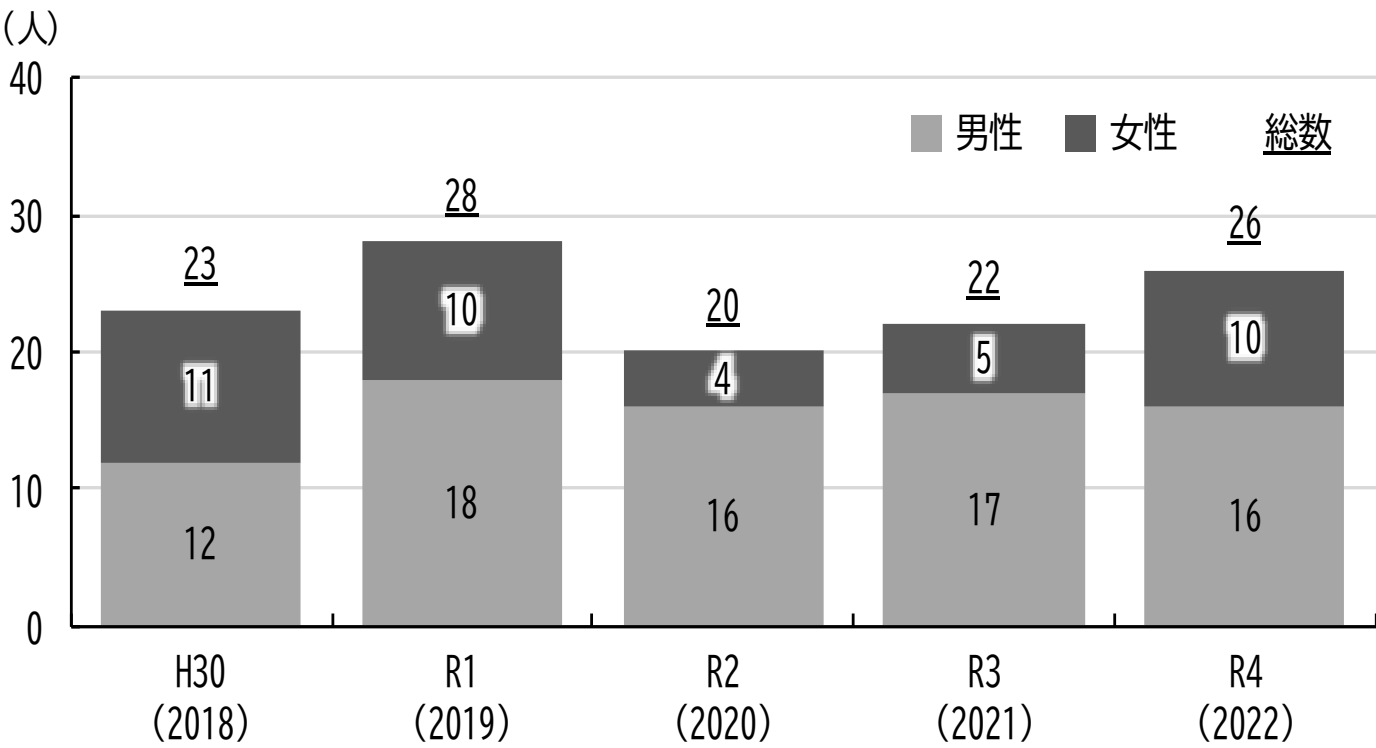
この計画は、健康づくり推進プランの「休養・こころの健康」の取組に高い関連性があることから、現状を報告致します。

■小牧市の現状について

①自殺死亡者数・率の推移

▼本市の自殺死亡者数の推移

グラフ 1

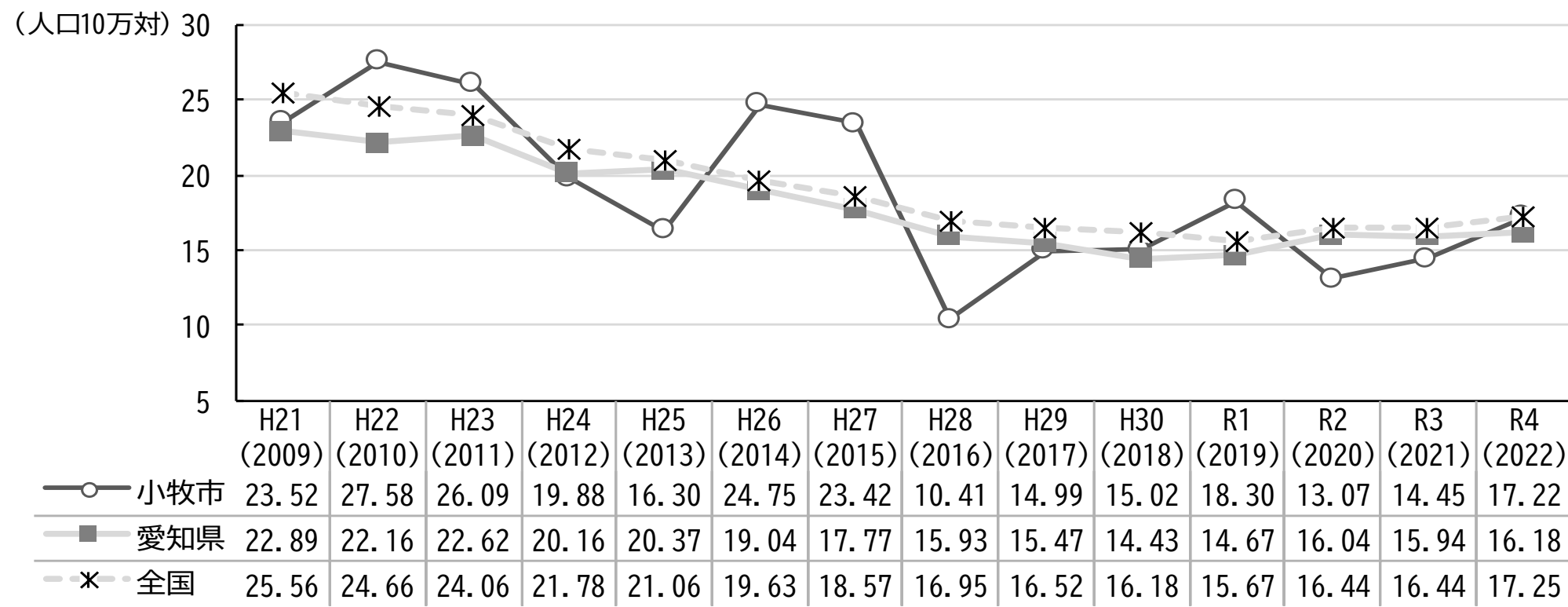


■本市の自殺死亡者数の総数は、平成30年以降、20人～30人程度で推移しています。性別で比較すると、男性が多い傾向となっています。

資料・地域自殺実態プロファイル2023（いのちを支える自殺対策推進センター）より

▼自殺死亡率の推移（人口10万対、全国・愛知県比較）

グラフ 2

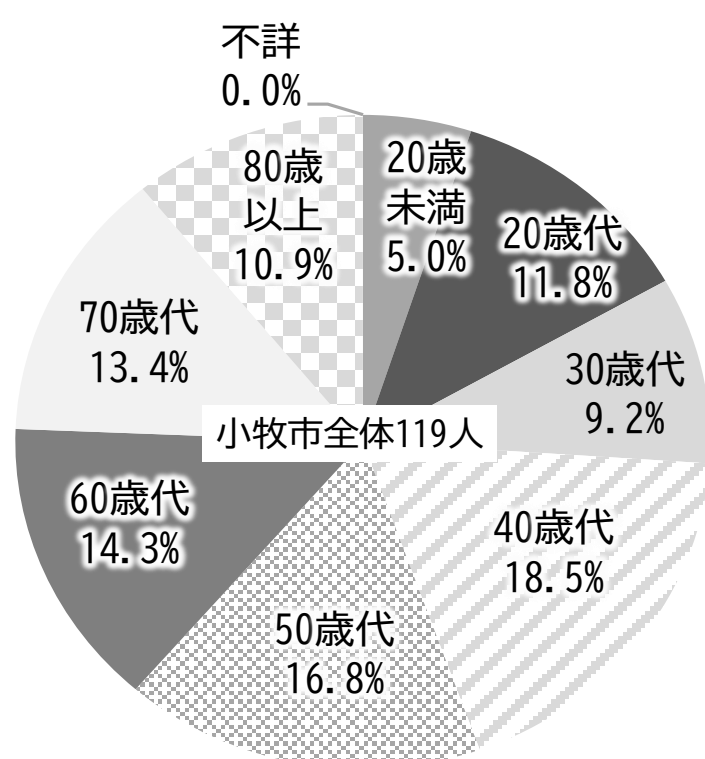
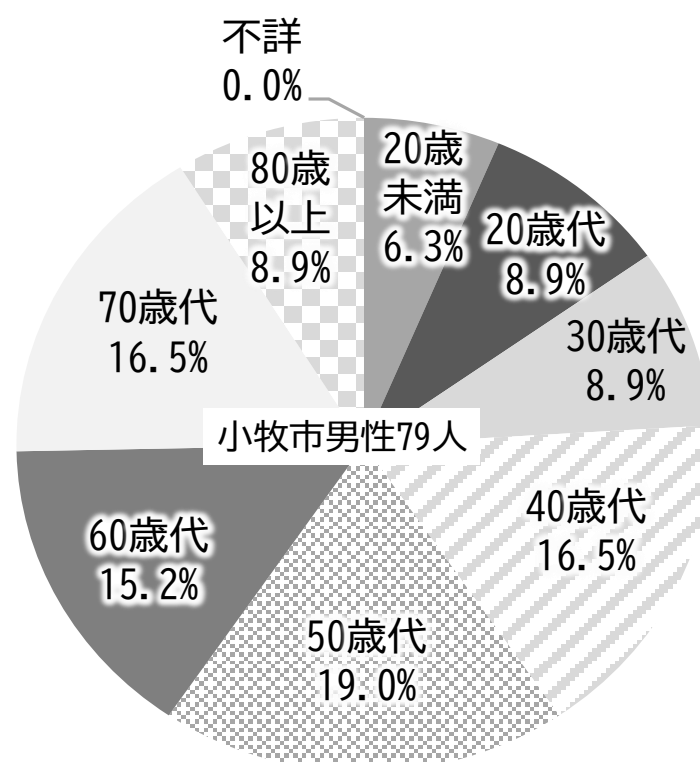
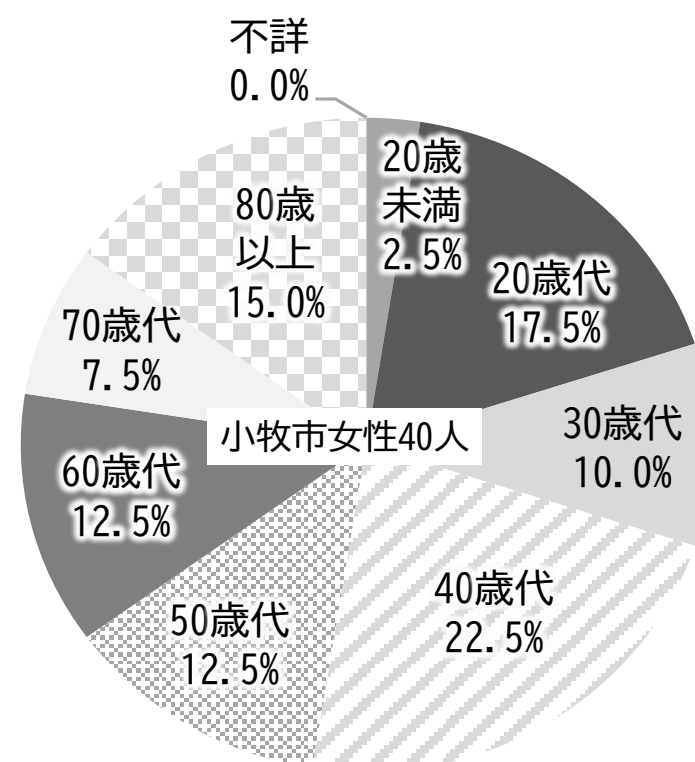


資料・地域自殺実態プロファイル2023（いのちを支える自殺対策推進センター）より

■本市の自殺死亡率は、全国・愛知県と同様、令和2年度以降、増加傾向となっています。

②年代別自殺者数の状況

グラフ 3

▼年代別自殺者数（小牧市全体）
平成30年～令和4年▼年代別自殺者数（小牧市男性）
平成30年～令和4年▼年代別自殺者数（小牧市女性）
平成30年～令和4年

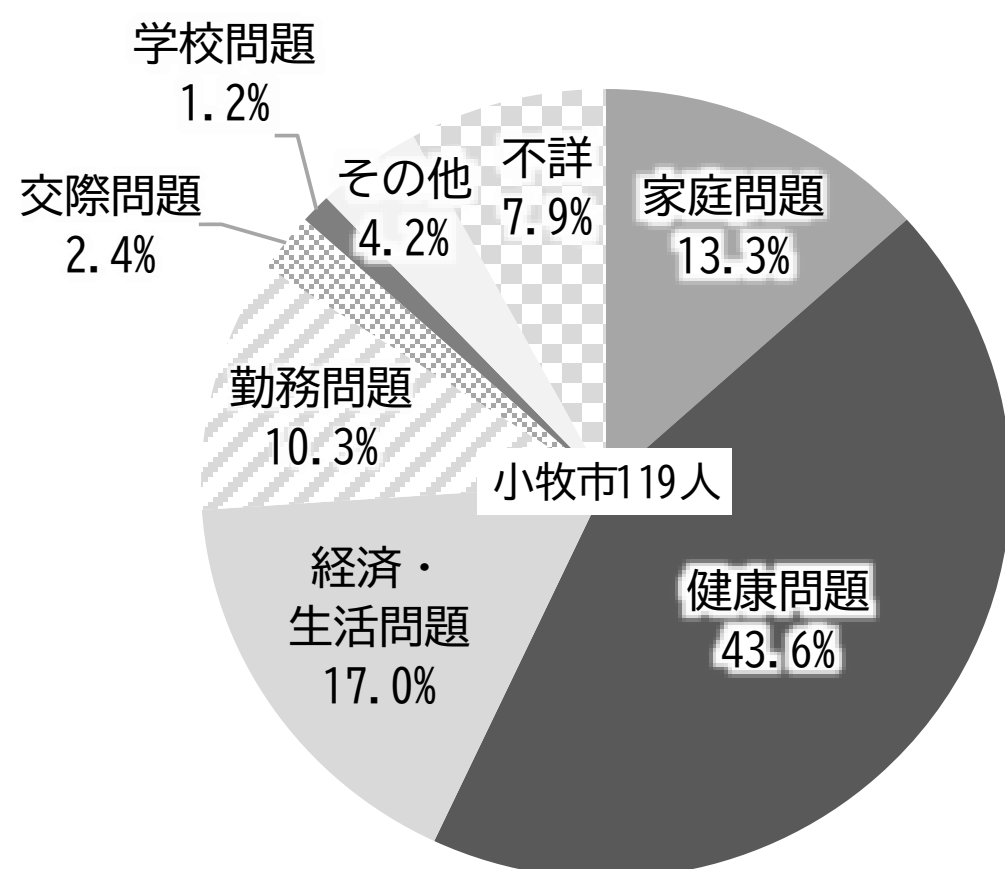
資料：地域自殺実態プロファイル2023（いのち支える自殺対策推進センター(JSCP)）

- 年代別自殺者総数は、40歳代が最も多く、次いで50歳代となっています。
- 男性は、50歳代、40歳代、70歳代という順で多くなっています。
- 女性は、40歳代、20歳代の順で多くなっています。
- 20歳代については、男性と比べ女性が8.6ポイント高く、また男女で異なった全体構成比となっています。

③自殺の原因・動機

▼自殺者における原因・動機別の割合
（小牧市、平成30年～令和4年計）

グラフ 4



- 本市の自殺者における原因・動機別の割合は、「健康問題」、「経済・生活問題」、「家庭問題」の順で多くなっています。性別では、「健康問題」が男女とも多く、男性では、「経済・生活問題」、「勤務問題」が女性より多い結果となっています。

資料：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省）